

5月 副校長講話

平成30年度が始まって、早くも2ヵ月が経ちました。5月8日に行われた副校長講話は、「岐路に立つ」という演題で、始業式での講話「わからないことがわからないと言える学級」から続く、「考えて生きる」をテーマにお話がありました。

— 岐 路 に 立 つ —

～ わからないことがわからないと言える学級から、
みんなでわからないことを追究していくことができる学級へ ～

さて、今日はこんなお話です。「**岐路に立つ**」。

どんな意味でしょうか。

毎日、ここに立てる人はすごいと思う。それはなぜか…

考えて生きている人だからこそ生まれる「問い」だからです。この話を少し具体的にしていきましょう。

* * * * *

昔、昔、田中君という人がいました。田中君はむこうに見える山にむかって歩いて行きました。

「あの山を越えていけば、温泉が待ってるぞ。温泉につかって、『いい気持ちー』ってやるんだ」

田中君は、そんな独り言を言いながら、遠くに見える山を目指して行ったのでした。

しかし、そのうちにひとつの心配事が、浮かんできました。それは、明日までに、「算数のわり算の問題でわからないところを見つけてこよう」とクラスみんなで決めていたのでした。

「ああ、面倒くさいなあ」「俺一人ぐらいやっていかなくたっていいかな」そんな気持ちが田中君の心の中に大きくなっていくのがわかりました。田中君の歩くスピードは急にゆっくりになっていきました。

「ああ、考えるの面倒くさい・・・楽ちんな方がいいのになあ」

自分のやりたいことだけをやってきた田中君。やりたくないことを後回しにしてきた田中君。

次第に、少しずつ、少しずつ、田中君は、現実から逃げるための「いいわけ」ばかりを考えるようになっていきました。

「和幸、テレビばかり見てないで宿題やったの？」とお母さんから叱られ、

「うん、もう、宿題なんて終わってるから。」とテレビ見たさに、お母さんにそんなこと言ってごまかしたりして…。

「ああ、またお母さんにうそついちゃった」と思った途端、テレビがおもしろくなくなっていました。

* * * * *

毎日の暮らしの中には、自分がどの道を選ぶかを決める時があります。これはとても大切なことです。

右の道に行くのか、左の道に行くのか。楽な方を選ぶ生き方なのか、乗り越えていく道を選ぶのか。

そして、それは本当に自分に嘘をついていないのか。

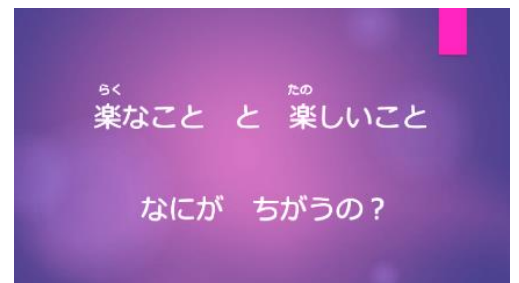
言い訳をしている道になっていないのか。

これは1年生だって、考えれば、できることです。

さて、話はちょっと、もどりますが、楽なことと、楽しいことって何が違うんでしょう。

先生はこれを考えていかなければ、本当の楽しさはわからない気がします。

乗り越えていく喜びを知る人間でなければ、簡単な方に流される人になってしまうからです。ところが、ここ附属長野小の子どもたちは低学年の時に動物を飼ったり、外に出て、自分たちの基地を作ったり、川に行って船を浮かべたり…本気になって「何とかしよう」という学習をしています。だからこそ、こんな難しい言葉を皆さんに伝えているのかもしれない。



* * * * *

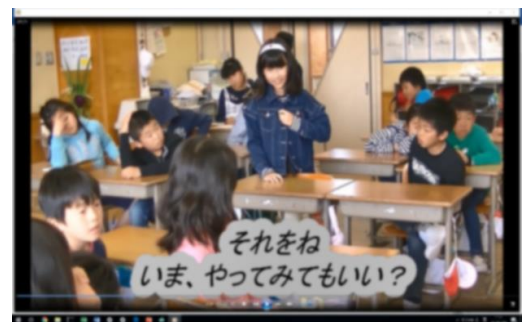
先日の4年1組の朝の会でこんなことがありました。

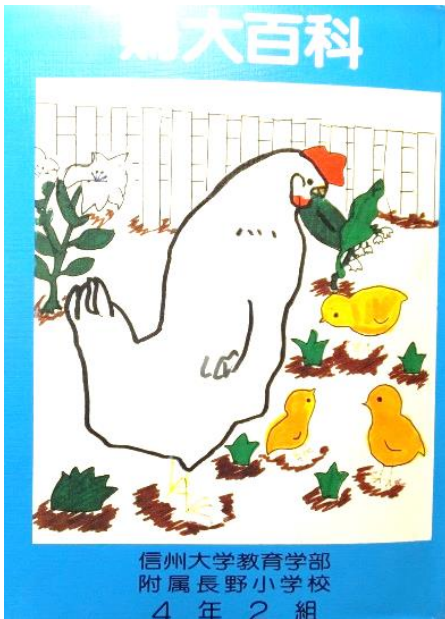
「雲は何でできているの？」この言葉が発端となり、考えていくシーンです。

「決まってんじゃん、水蒸気でしょ」で終わらせないとところがすごい。

「じゃあ、そもそも水蒸気って何？」となっていくわけです。

これからお見せするビデオは、「もしかしたら・・・」と自分で雲を作ってみようと教室に持ち込んでくる友だちとみんなと一緒にみつめていく場面です。





今年のPTAの副会長をされている和田さん、2-1の和田 媛佳さんのお母さんですが、和田さんは、附属長野小学校の卒業生です。和田さんが小学校4年生の時に、学級でにわとりを飼っていたのだそうです。そして、鶏のことをどんどん調べていくうちに一冊の本ができあがりました。この「にわとり大百科」なんですが、開いて見ると面白いんです。

にわたりのたまごは「お酢」でしずむかを実験したり、人間の赤ちゃんの呼吸は一日約5万7000回というが、にわとりはどうなんだろうと考えてみたり、さらには、にわたりのまばたきの回数まで調べていったのでした。

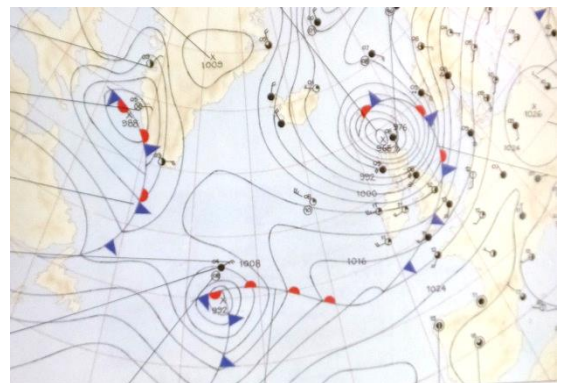
不思議だと思うこと、「なぜだろう」「どうしてだろう」「どうしたらいいんだろう」と考え、調べていく…。

ひとつのことがわかって、また、新しい「わからなさ」が生まれ、山を登るかのようにどんどん次のなぞが生まれる。これこそが、本物の学習であり、楽しいしやりがいのある学習なのだと思います。

* * * * *

4-1のみなさん、ハリケーンってどんな構造になっているか知っていますか。

テレビで天気予報の話が出てくるとき、よく、こんな図をみることがあると思いますが、この図を読める人いますか。



これも雲だけど、そもそも曇って何種類あるか知っていますか。

こうやって考えていけば、知らないことは山のようにあります。そうしたことを友だちや先生と一緒に考えていける…そのことが楽しくてたまらない…そう思えるのです。

教えてもらうことは限られている。

でも、自分たちで調べていくことには限りない。

わからないことがわからないと言える学級から、みんなでわからないことを追究していくことができる学級へと一歩歩き出しましょう。

わからないことが
わからないと言える学級から

追究していく学級へ

— 教育実習Ⅱ（４年次生）始まる —

５月２８日（月）より６月８日（金）までの２週間、教育実習生が実習を行っています。

* * * * *

歓迎朝会では、下崎児童会長が「先生方が来るのを楽しみにしていました。私たちは、グラウンド、自然体験園などで休み時間には全力で遊び、授業中には一つのことに向き合い、話し合いや活動を重ね真剣に学んでいます。教育実習の先生方も私たちと一緒に遊び、学び、そして私たちもたくさんことを学べる機会にしたいです。短い間ですが、仲良くしたいと思います。よろしくをお願いします」と挨拶しました。

実習生代表の森剛実習生は、「皆さんとの出会いを楽しみにしていました。大学で勉強したことが発揮できると、張り切っています。普段は大学生ですが、この２週間は附属長野小学校の先生として頑張ります。皆さんも全力で向き合ってください」と挨拶し、その後全校で信濃の国を歌って、歓迎の意を表しました。

学級では、実習の先生方との生活が始まって１週間が経ちました。昨年度他校で実習を行ってきた実習生ですが、長野小のそれぞれの学級の「文化」に、驚いたり、感心したりの連続の中で、あっという間の１週間だったようでした。今週は授業実習を中心に、実習の佳境を迎える５日間となります。



お知らせ ～学校より～

５月３０日に家庭数でお配りした学校からの通知の通り、６月１２日より日課が変更となります。特に帰りの時間は５時間授業の学年は下校が１４：４５から１４：１５に、６時間授業の学年は１５：４５から１５：１０に変更となります。よろしくをお願いします。